



新しい年がスタートしました。
皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今回のテーマは『認知症サポーター養成講座』です。

このコラムのタイトル「ロバさん」は、認知症サポーターキャラバンのマスコット「ロバ隊長」にちなんでいます。

認知症サポーターキャラバンは、高齢者人口の増加による認知症対策を背景に二〇〇五（平成十七）年から始まり、「認知症になつても安心して暮らせるまちづくり」を目指しています。養成講座を受講した「認知症サポーター」は、何か特別なことをする人ではなく、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人や家族に対して、自分のできる範囲での手助けをする人です。

認知症は、決して特別なことではなく、誰にとつてもなる可能性があります。正しく知ることで、身近に考えるきっかけとなり、地域でお互いに声をかけ合う中でも、変化に気づけたり、助け合いの輪が広がっていくことがあります。

福山市では、二〇二五（令和七）年三月末現在の二〇年間で、三万六千人以上のサポーターが養成されています。この西南部エリアでも、近年は小学校や地域住民等から依頼を受け、認知症に対する普及啓発に向けて講座を行っています。

講座は、福山市民（おおむね十人以上）の団体を対象に、講師を無料で派遣しています。

講座の内容は、『認知症とは』、『認知症の症状』、『認知症の診断・治療』、『周りの人がでかける心がけ』などです。講座を受けられると、修了の証として『認知症サポーターカード』などが配布されます。

テキストは小学生・中学生・大人用の3種類があります。小学生には紙芝居を用いながら伝えたり、大人の方には本人さんからのメッセージを通じて気持ちや希望を知る機会をもっています。講座を受講した小学生からは、「認知症の人得不到な気持ちになつたら、やさしく声かけをしようとと思いました」「認知症についてもつと知りたいと思いました」などの声が聞かれています。

受講希望や講座については、希望日の1ヶ月以上前までに、事務局の福山市高齢者支援課（電話：084-928-1065）までお問い合わせください。



How to Use the Center

►人権標語応募のお礼

先日地域の皆さんに募集した人権標語につきまして、たくさんのご応募ありがとうございました。

選ばれた標語は川尻公園内の人権啓発看板に掲載される予定です。完成を楽しみにお待ちください。

►交流館利用の際のお願い

- ◇交流館を使用する際は、事前に登録のうえ、使用許可申請書の提出か、電子申請を行ってください。
- ◇使用後は必ず掃除をし、戸締り・電気・火の元の確認をしてください。
- ◇ごみ、私物等は使用団体で持ち帰ってください。
- ◇使用後は事務室前カウンターの上にある、使用報告書に記入してください。